

天井の楽園「穂高池巡り」—ひょうたん池—

(報告) F裕

日程：2017年 8月3日(木)～4日(金)

メンバー：A澤夫、A澤妻、N田、H野、S光、O田、T本、H夫、H妻、A野、I上、F裕

爽やかな風の吹く上高地。8月3日の夕方4時にメンバー全員が「山のひだや」に集合しました。と
いいたいところですが、リーダーのO塚さんが急病のため急遽キャンセルでした。今回のリーダーでも
あり、唯一ひょうたん池に行ったことがあるO塚さんの欠席は痛かったです。

夕食前に顔合わせ。O塚さんの欠席が確認されました。メールによると、今日はレントゲンを撮り、
明日はMRIを撮るとのこと。早い回復を願います。リーダーはFがやることに決まりました。皆さんで
懇親会を行います。スイス帰りのA澤さんからメンヒやユングフラウの登山の様子などを伺います。A
澤さんたちがメンヒに登っていた頃に70代の日本人男性と50代の女性が滑落して死亡したというニ
ュースが流れました。無事でよかったです。今回初めて参加したA野さんの話は興味深かったです。A
野さんは300名山を終え、さらに北海道100名山も終えたそうです。日本1000山を狙っているそう
です。しかし今は体力・気力に自信がなく、諦めの気持ちもあるそうです。それにしても、シリウスの
オリジナルメンバーでもあるA野さんの話は一度例会で皆さんで共有できたらいいなと思いました。シ
リウスの人材は深いです。



「山のひだや」前で集合写真

4日は6時に「山のひだや」を出発です。曇りときどき晴天。A澤夫妻、S光、T本、H口夫妻、A野、I上、F裕（L）9名で登ります。取り付きは信州大学山岳科学総合研究所の裏側からです。木橋を二つ渡り、熊笹の生い茂る道を1時間ほど歩きます。7月1日に上高地は激しい雨が降ったそうです。1日に500mmもの雨が降り、釜トンネルが閉鎖となり一週間も客が上高地に入れなかったそうです。梓川も氾濫しそうになり、その傷跡がいくつか残っていました。そのため今年は例年行っている登山道の下草刈を行っていませんでした。道が隠れてしまい、ルートファインディングに悩まされました。7時30分。宮川のコルを越えます。正面左に明神5峰が見えてきます。

このあたりで樹林帯を抜けると、右側に長七ノ頭が見えます。その左側のコルにひょうたん池があるそうです。明神4峰からの岩稜の末端に回り込むと慰霊碑が3つありました。ここを越えると雪渓が見えてきました。雪渓の近くでは山桜が咲いていました。8月に花見とは嬉しいものです。

急な不安定な岩くずの斜面を登り、笹藪の細い道を行くと、ひょうたん池（2280m）は現れました。トップのT本さんが「ひょうたん池があったゾー」と大声で叫んでいます。



「ひょうたん池」で集合写真



右側明神岳4峰。前方霞沢岳

本当にひょうたんの形をして佇んでいます。水は澄んでいます。中にサンショウウオがいるそうです。池をバックに記念写真を撮り、振り向くと霞沢岳が大きく構えているのが見えます。明神の岩峰が西側にいくつも聳えています。私たち以外、ここにいない。贅沢な空間を一人占めています。雪渓から吹く風は爽やかです。

下りは岩の安定が悪く、足を乗せるとぐらつく岩が多いのに閉口しました。こんなにガシタ道だったのかと驚くような道でした。よく登ってきたなと感心しました。

約3時間で「山のひだや」に無事に到着しました。参加された皆さんお疲れさまでした。

O塚さんには個人ではなかなか登れない穂高のすばらしい池を紹介していただきました。どうもありがとうございました。早い病気の回復を願っています。

<コースタイム記録>

8月4日（金）

6:00 「山のひだや」発 — 7:30宮沢の科尔 — 9:00 雪溪 — 9:28 ひょうたん池 着
— 雪溪に戻り休憩 — 10:20 雪溪 発 — 13:15 「山のひだや」着